

平成17年の観光客数について

観光客数算出における注意事項

旧下関市では5年に1度、観光動態調査を実施し、実態に近い観光客数を推計するための観光客の回遊率等の数値を求めていました。(今回は平成13年に実施) しかしながら、旧4町地区(菊川、豊田、豊浦、豊北)においては、旧下関市のように観光客の地区内の回遊率を求めたり、観光客数をカウントできない観光スポットの観光客数を求めるための大規模な観光動態調査をこれまで実施していませんでした。

本来なら合併が行われた平成17年分より、旧1市4町間の回遊率等を用い、集計方法の変更をかけるべきところですが、次に観光動態調査を実施する平成18年に旧4町を含めての観光動態調査を行い、平成17年分についても改めて再調整することとします。

従って、今回は基本的に旧4町エリア内での観光客数集計対象施設等の調整は行いませんが、観光客数(実人数)の算出については、各地区ごとに原則合併以前の算定式に基づいた集計方法での発表といたします。

なお、宿泊客数については、エリア間の重複調整は不要のため、新市合計の人数を公表いたします。

平成17年の概要

■旧下関地区の観光客数は延人数ベースでは約246千人、率にして4.17%の増となっており、うち通年型観光客数は約132千人、率にして3.17%の増となっています。地区別内訳をみると、火の山地区が前年対比約220千人、率にして113.24%の増、吉田地区が前年対比約6千人、率にして9.66%の減、巖流島を含む「その他施設」が約50千人、率にして10.13%の減となっています。

■旧下関地区の観光客数は実人数ベースでは約3,533千人、うち通年型観光客数は約1,652千人、前年対比約3千人、率にして0.20%の増となっていますが、これは平成17年のNHK大河ドラマ「義経」の放映による影響でみもすそ川公園等への観光客が増加したことが主な要因です。また、季節型観光客数は約1,880千人、前年対比約115千人、率にして6.50%の増となっていますが、これは前年雨天により減少した海峡まつりの観光客が平成17年は義経効果と晴天により増加したことが主な要因です。

■旧下関地区の観光客数については、平成17年はNHK大河ドラマ「義経」の放映という追い風があったものの、JR西日本の福知山線列車事故による「関門・海峡物語」キャンペーン等の宣伝自粛、愛知万博の開催や九州国立博物館のオープンといった逆風もあり、旧下関地区では過去最高を記録した平成15年にはとどきませんでした。しかしながら、本市の官民上げての観光キャンペーン等のソフト戦略の効果により、「海響館」や「新唐戸市場」がオープンした平成13年以降では2番目の人数となっています。

■菊川地区の観光客数は実人数ベースで約411千人、前年対比約199千人、率にして93.86%の増となっていますが、これは平成17年から道の駅「きくがわ」を新たに観光客数集計対象としたことが主な要因です。そのため、平成16年に道の駅を算入した場合は5.64%の増となります。

■豊田地区の観光客数は実人数ベースで約953千人、前年対比約435千人、率にして83.89%の増となっていますが、これは道の駅「蛸街道西ノ市」の開設効果が主な要因です。

■豊浦地区の観光客数は実人数ベースで約507千人、前年対比約16千人、率にして3.26%の増となっていますが、これはリフレッシュパーク豊浦や川棚温泉への観光客の増が主な要因です。

■豊北地区の観光客数は実人数ベースで約619千人、前年対比約47千人、率にして8.29%の増となっていますが、これは映画「四日間の奇蹟」のロケ地となった角島への観光客の増が主な要因です。

■旧4町地区の観光客数の増については、合併による情報発信量の増加もその要因の一つと考えられます。

■宿泊者数は約768千人で、前年対比約6千人、率にして0.85%の増となっています。地区別に見ると、旧下関、菊川、豊北地区では増、豊田、豊浦地区では減となっています。

観光客数

		H17	H16	増減	前年比
延人数	旧下関地区	6,157,595人	5,911,202人	246,393人	4.17%
	通年型観光客数	4,277,106人	4,145,537人	131,569人	3.17%
	下関駅地区	110,395人	115,847人	△ 5,452人	△ 4.71%
	唐戸地区	2,820,226人	2,832,284人	△ 12,058人	△ 0.43%
	火の山地区	413,792人	194,049人	219,743人	113.24%
	長府地区	306,646人	318,871人	△ 12,225人	△ 3.83%
	吉田地区	51,518人	57,024人	△ 5,506人	△ 9.66%
	山陰地区	129,505人	132,253人	△ 2,748人	△ 2.08%
	その他施設(旧下関)	445,024人	495,209人	△ 50,185人	△ 10.13%
	季節型観光客数	1,880,489人	1,765,665人	114,824人	6.50%
	菊川地区	508,570人	235,061人	273,509人	116.36%
豊田地区	1,250,286人	575,405人	674,881人	117.29%	
豊浦地区	563,559人	539,328人	24,231人	4.49%	
豊北地区	743,832人	650,633人	93,199人	14.32%	

		H17	H16	増減	前年比
実人数	旧下関地区	3,532,795人	3,414,663人	118,132人	3.46%
	通年型観光客数	1,652,306人	1,648,998人	3,308人	0.20%
	季節型観光客数	1,880,489人	1,765,665人	114,824人	6.50%
	菊川地区	410,851人	211,932人	198,919人	93.86%
	(H16に道の駅を算入した場合)	410,851人	388,898人	21,953人	5.64%
	豊田地区	952,634人	518,038人	434,596人	83.89%
	豊浦地区	507,203人	491,195人	16,008人	3.26%
	豊北地区	619,329人	571,933人	47,396人	8.29%

【参考】 延人数：観光スポットやイベント等への観光客の単純合計人数

実人数：延人数の重複を考慮した観光客数

(1人が2箇所の観光スポットを訪れた場合、延人数は2人、実人数は1人となります。)

通年型観光客数：観光施設や史跡・名所など年間を通じて観光ができるスポットへの観光客数

季節型観光客数：祭りやイベントなど時期が限定される行事への観光客数

宿泊者数

		H17	H16	増減	前年比
宿泊者数		768,394人	761,917人	6,477人	0.85%
	旧下関地区	598,611人	586,754人	11,857人	2.02%
	菊川地区	7,441人	7,154人	287人	4.01%
	豊田地区	49,114人	52,028人	△ 2,914人	△ 5.60%
	豊浦地区	53,904人	58,000人	△ 4,096人	△ 7.06%
	豊北地区	59,324人	57,981人	1,343人	2.32%